

最後の質問です。

保育所での災害対応についてです。災害用備蓄品に絞ってお聞きします。

小学校、中学校、公民館には発電機が備蓄されていますが、保育所には備蓄されていません。お聞きしますと、小中学校、公民館は避難所に指定されているからとのこと。

今年11月、自治労連愛媛県本部主催の地方自治研究愛媛県集会の保育部会に参加しました。

その資料によりますと、備品等の確保について、本市の保育所では発電機、毛布、防寒着の備蓄の希望が多いようです。

現状はどうなっていますか。また、今後の配備の予定はいかがですか。そのほかの備蓄品についても、保育所ごとに聞き取りをして、個別に対応すべきだと思いますが、その見通しについて伺います。

○福祉部こども局長（藤田恵女）

（登壇） 保育所での災害対応についてお答えいたします。

まず、発電機、毛布、防寒着等の配備状況についてでございます。

公立保育所においては、災害発生時に園児を安全かつ迅速に保護者へ引き渡すことを最優先としております。

また、大規模災害の際には、速やかに避難所へ避難することを前提としていることから、発電機や毛布の配備は現在行っておりません。

防寒着につきましては、園児が登園時に着用している衣類を使用することから、新たに防寒着を整備する必要性は、現段階では低いと考えております。

発電機につきましては、保育中に災害が発生する可能性も考慮し、保護者への連絡や情報収集を行うため、電源確保が必要と認識しております。そのため、保育士の意見を参考にし、令和7年度から段階的にポータブルバッテリー等の配備を進めることとしております。

次に、そのほかの備蓄品についてでございます。

非常食、生活品及び医薬品等の災害時備蓄品につきましては、各保育所で品名、数量、使用期限、保管場所をリスト化し、ローリングストック方式で管理しております。

今後も園児数などを考慮し、災害に備えて不足が生じないように、必要な備蓄品を各保育所で整備してまいります。

○議長（田窪秀道） 再質問はありませんか。井谷幸恵議員。

○8番（井谷幸恵）（登壇） 災害から子供の命が守られるよう、課題を一つ一つクリアしていただきます。ありがとうございました。